【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2007-87165(P2007-87165A)
【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-013
【出願番号】特願2005-275977(P2005-275977)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/22　　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　21/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/22　　５２０Ｎ
Ｂ４１Ｊ　21/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月22日(2008.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
郵便番号／住所辞書を用いて郵便番号から住所への変換を実行するための、郵便番号変換専用画面を表示可能な画像作成装置の制御方法であって、
キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面から前記郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、前記郵便番号変換専用画面において入力された前記郵便番号が前記住所に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、
前記郵便番号変換専用画面を前記入力編集画面に切り替えると共に、前記入力編集画面の入力指示位置に前記変換結果を表示することを特徴とする画像作成装置の制御方法。
【請求項２】
郵便番号／住所辞書を用いて住所から郵便番号への変換を実行するための、郵便番号変換専用画面を表示可能な画像作成装置の制御方法であって、
キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面から前記郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、前記郵便番号変換専用画面において入力された前記住所が前記郵便番号に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、
前記郵便番号変換専用画面を前記入力編集画面に切り替えると共に、前記入力編集画面の入力指示位置に前記変換結果を表示することを特徴とする画像作成装置の制御方法。
【請求項３】
キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面を表示する入力編集画面表示手段と、
郵便番号／住所辞書を有し、郵便番号から住所への変換を実行するための郵便番号変換専用画面を表示する専用画面表示手段と、
前記入力編集画面および前記郵便番号変換専用画面の相互間で画面切り替えを行うための画面切替手段と、
前記入力編集画面から前記郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、前記郵便番号変換専用画面において入力された前記郵便番号が前記住所に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、前記郵便番号変換専用画面を前記入力編集画面に切り替えると共に、前記入力編集画面の入力指示位置に前記変換結果を表示する表示制御手段と、を

備えたことを特徴とする画像作成装置。
【請求項４】
キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面を表示する入力編集画面表示手段と、
郵便番号／住所辞書を有し、住所から郵便番号への変換を実行するための郵便番号変換専用画面を表示する専用画面表示手段と、
前記入力編集画面および前記郵便番号変換専用画面の相互間で画面切り替えを行うための画面切替手段と、
前記入力編集画面から前記郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、前記郵便番号変換専用画面において入力された前記住所が前記郵便番号に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、前記郵便番号変換専用画面を前記入力編集画面に切り替えると共に、前記入力編集画面の入力指示位置に前記変換結果を表示する表示制御手段と、を備えたことを特徴とする画像作成装置。
【請求項５】
請求項３または４に記載の画像作成装置における各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。
【請求項６】
請求項３または４に記載の画像作成装置と、
前記入力編集画面上で作成された画像の印刷を行う印刷手段と、
を備えたことを特徴とする印刷装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像作成装置の制御方法、画像作成装置、プログラムおよび印刷装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、入力された郵便番号（住所）を、これに対応する住所（郵便番号）に変換し、変換した住所（郵便番号）の印刷画像を作成する画像作成装置の制御方法、画像作成装置、プログラムおよび印刷装置に関するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、入力した郵便番号（住所）をこれに対応する住所（郵便番号）に確実に変換することができると共に、その変換処理に引き続き、キャラクタ列の入力・編集操作を効率良く行って、その印刷画像を作成することができる画像作成装置の制御方法、画像作成装置、プログラムおよび印刷装置を提供することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】
本発明の画像作成装置の制御方法は、郵便番号／住所辞書を用いて郵便番号から住所への変換を実行するための、郵便番号変換専用画面を表示可能な画像作成装置の制御方法であって、キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面から郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、郵便番号変換専用画面において入力された郵便番号が住所に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、郵便番号変換専用画面を入力編集画面に切り替えると共に、入力編集画面の入力指示位置に変換結果を表示することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の他の画像作成装置の制御方法は、郵便番号／住所辞書を用いて住所から郵便番号への変換を実行するための、郵便番号変換専用画面を表示可能な画像作成装置の制御方法であって、キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面から郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、郵便番号変換専用画面において入力された住所が郵便番号に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、郵便番号変換専用画面を入力編集画面に切り替えると共に、入力編集画面の入力指示位置に変換結果を表示することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の画像作成装置は、キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面を表示する入力編集画面表示手段と、郵便番号／住所辞書を有し、郵便番号から住所への変換を実行するための郵便番号変換専用画面を表示する専用画面表示手段と、入力編集画面および郵便番号変換専用画面の相互間で画面切り替えを行うための画面切替手段と、入力編集画面から郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、郵便番号変換専用画面において入力された郵便番号が住所に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、郵便番号変換専用画面を入力編集画面に切り替えると共に、入力編集画面の入力指示位置に変換結果を表示する表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明の他の画像作成装置は、キャラクタ列を入力・編集するための入力編集画面を表示する入力編集画面表示手段と、郵便番号／住所辞書を有し、住所から郵便番号への変換を実行するための郵便番号変換専用画面を表示する専用画面表示手段と、入力編集画面および郵便番号変換専用画面の相互間で画面切り替えを行うための画面切替手段と、入力編集画面から郵便番号変換専用画面への切り替えが行われ、郵便番号変換専用画面において入力された住所が郵便番号に変換された後に、変換結果の確定操作が行われたときに、郵便番号変換専用画面を入力編集画面に切り替えると共に、入力編集画面の入力指示位置に変換結果を表示する表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。
【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明の印刷装置は、上記した画像作成装置と、入力編集画面上で作成された画像の印刷を行う印刷手段と、を備えたことを特徴とする。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
そして、ユーザは、キャラクタ列の入力・編集が完了したら、プレビュー領域１３７において印刷イメージを確認の上、印刷キーを押下することで、入力編集画面１３１（画像編集領域１３６）上のキャラクタ列に基づいて印刷画像が作成され、印刷テープＴにその印刷画像が印刷されたテープ片（ラベル）を得ることができる（図４（ｂ）参照）。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４９】
図５に示すように、具体的には、まず、所定のキー操作により、宛名書きフォームを呼び出す。宛名書きフォームが呼び出されると、表示画面３１には、宛名登録画面１３３が表示される（図５（ａ）参照）。宛名登録画面１３３には、上記の６項目のうち、３項目が表示される（上下スクロールにより、他の３項目も表示可能）。「郵便番号」に所望の郵便番号（例えば、１００－００００）を入力し、変換キーを押下すると、「住所１」に、その郵便番号に対応する住所（この場合、東京都千代田区）が表示される（図５（ｂ）参照）。「住所１」に、町名・番地等を続けて入力し、「住所２」にビル名等を入力し、同様に、「会社名」、「部署」および「氏名」を入力する。そして、印刷キーを押下すると、「郵便番号」、「住所１」、「住所２」等を所定のレイアウトにして印刷画像が作成され、印刷テープＴに印刷される（図５（ｃ）参照）。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
図６および図７に示すように、入力編集画面１３１が表示されているときに（図６（ａ

）参照）、所定のキー操作を行うと、表示画面３１には、選択画面１３４が表示され、選択画面１３４には、部首変換専用画面、郵便番号変換専用画面１３２およびコード変換専用画面から任意の１の変換専用画面を選択するため、これらが選択メニューとして表示される（図６（ｂ）参照）。この選択メニューにおいて、「郵便番号変換」を選択すると、郵便番号変換専用画面１３２に切り替えられる（図６（ｃ）参照）。これによれば、３つの変換専用画面について、共通の選択メニューにより、入力編集画面１３１からの画面切替えを行うことができるため、画面切替えのためのメニューを数多く設定する必要がなく、操作性を向上させることができる。

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
郵便番号入力欄１４６に、キーボード１２から、郵便番号として７桁の数字（例えば「１００００００」）を入力すると、ハイフンが自動挿入され、その郵便番号が表示される（図７（ａ）参照）。選択キーを押下すると、表示画面３１には、変換確認画面１３５が表示され、入力した郵便番号に対応する住所（例えば「東京都千代田区」）が表示される（図７（ｂ）参照）。

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５４】
変換された住所を確認の上、選択キーを押下すると、入力編集画面１３１に切り替わり、その画像編集領域１３６には、郵便番号変換専用画面１３２に切り替わる前のカーソル位置に、変換された住所がキャラクタ列として表示される（図７（ｃ）参照）。さらに、その変換処理に引き続き、町名、番地等を入力する（図７（ｄ）参照）。そして、プレビュー領域１３７により印刷イメージを確認の上、印刷キーを押下すると、入力編集画面１３１上のキャラクタ列に基づいて印刷画像が作成され、それが印刷テープＴに印刷される（図７（ｅ）参照）。

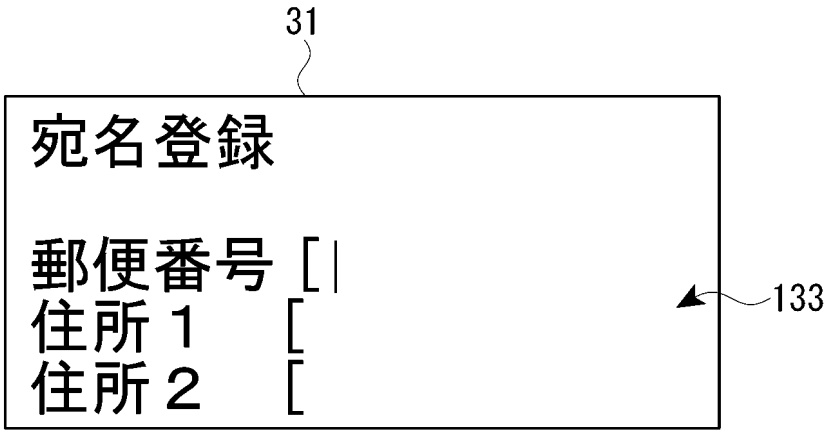
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５６】
図８に示すように、郵便番号変換専用画面１３２において、入力した郵便番号をこれに対応する住所に変換するのと同様の操作により、入力した住所をこれに対応する郵便番号に変換することも可能である。すなわち、郵便番号入力欄１４６に郵便番号を入力する代わりに、住所入力欄１４７に、キーボード１２から、住所であるキャラクタ列（例えば「東京都千代田区」）を入力し（図８（ａ）参照）、選択キーを押下すると、表示画面３１には、変換確認画面１３５が表示され、入力した住所に対応する郵便番号（例えば「１００－００００」）が表示される（図８（ｂ）参照）。

【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５７
【補正方法】変更
【補正の内容】

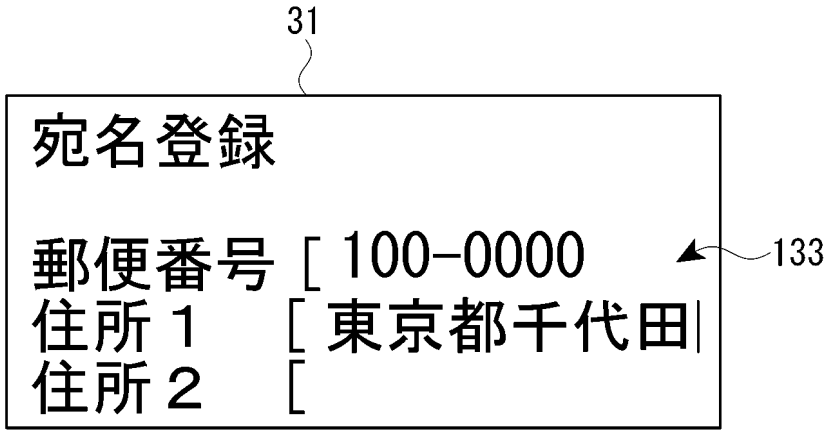
【００５７】
変換された郵便番号を確認の上、選択キーを押下すると、入力編集画面１３１に切り替わり、画像編集領域１３６には、郵便番号変換専用画面１３２に切り替える前のカーソル位置に、変換された郵便番号が、キャラクタ列として組み込まれる（図８（ｃ）参照）。さらに、その変換処理に引き続き、住所等を入力する（図８（ｄ）参照）。そして、プレビュー領域１３７により印刷イメージを確認の上、印刷キーを押下すると、入力編集画面１３１上のキャラクタ列に基づいて印刷画像が作成され、それが印刷テープＴに印刷される（図８（ｅ）参照）。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
以上のように、本実施形態のテーププリンタ１は、郵便番号変換専用画面１３２において、郵便番号／住所変換および住所／郵便番号変換の双方を実行できる構成であるが、郵便番号変換専用画面１３２において、郵便番号／住所変換のみを実行可能、或いは、住所／郵便番号変換のみを実行可能な構成であってもよい。もっとも、本実施形態のように、郵便番号／住所変換および住所／郵便番号変換の双方を実行可能であれば、入力した郵便番号をこれに対応する住所に確実に変換できると共に、入力した住所をこれに対応する郵便番号に確実に変換できるため、利便性を向上させることができる。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図５】

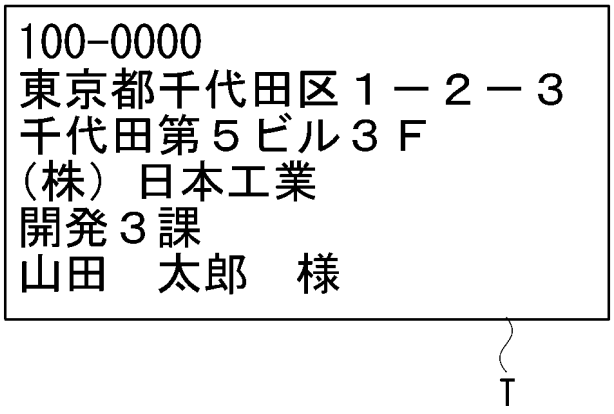
（ａ）


31
宛名登録
郵便番号 [
住所１ [
住所２ [
133

（ｂ）


31
宛名登録
郵便番号 [100-0000
住所１ [東京都千代田
住所２ [
133

（ｃ）


100-0000
東京都千代田区１－２－３
千代田第５ビル３Ｆ
（株）日本工業
開発３課
山田　太郎　様
T